

県立川崎図書館の移転に関する意見書

昭和33年に川崎区に開館した県立川崎図書館は、京浜工業地帯の近くに立地している特色を生かし、産業技術や自然科学の分野を中心とした25万冊余りの図書のほか、知的財産権に関する資料や各国の化学会誌など、科学・産業技術系やビジネス支援等の図書を豊富に所蔵し、また、国内最大級の1万7,000冊を超える社史を所蔵するなど、他の公立図書館と一線を画している。

平成29年度末までに移転する予定の県立川崎図書館について、県知事は、平成25年12月の県議会本会議において、交通の利便性が高く、かつ、バイオテクノロジーやICTなどの先端技術産業が集積し、県の科学技術拠点である高津区のかながわサイエンスパーク(KSP)へ移転させる方針を明らかにするとともに、県立川崎図書館とKSPに入居する神奈川科学技術アカデミーの機能を融合させるなど、産業の活性化につながる図書館となるよう努めるとした。

県立川崎図書館は、蔵書の豊富さに加え、先端技術や特許に関わる情報提供など、産業支援につながる機能も有しており、産業都市として発展を遂げ、先端技術を有する企業や研究機関の集積を進める本市において、県立川崎図書館の機能を維持し、本市と協議を重ねながら再整備を図ることは、県内産業の一層の活性化に寄与するものである。

よって、県におかれては、県立川崎図書館のKSP等への移転について、本市との具体的な協議の場を設け、当該図書館の機能を存続させるとともに、市民を始め利用者の利便性に十分配慮されるよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月18日

議会議長名

神奈川県知事 宛て